



2020年11月26日

各位

会社名 アゼアス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 斉藤文明  
 (コード番号: 3161 東証第二部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 羽場恒彦  
 (TEL. 03-3865-1311)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年9月9日に公表いたしました2021年4月期第2四半期(累計)の業績予想および2020年6月12日に公表いたしました2021年4月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## ●業績予想の修正について

2021年4月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年5月1日~2020年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,552	百万円 119	百万円 156	百万円 98	円 銭 17.51
今回発表予想(B)	4,674	243	289	210	37.47
増減額(B-A)	121	123	132	112	
増減率(%)	2.7	103.1	84.7	114.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年4月期第2四半期)	4,872	168	176	120	21.38

2021年4月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2020年5月1日~2020年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,650	百万円 99	百万円 112	百万円 72	円 銭 12.92
今回発表予想(B)	3,803	216	236	159	28.31
増減額(B-A)	153	116	124	86	
増減率(%)	4.2	117.4	111.3	119.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年4月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(注) 当社は、2020年4月期第2四半期においては、個別の四半期財務諸表を開示していないため、2020年4月期第2四半期(累計)の個別実績の記載をしておりません。

2021年4月期通期連結業績予想数値の修正（2020年5月1日～2021年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,711	百万円 200	百万円 280	百万円 176	円 銭 31.34
今回発表予想（B）	9,711	397	474	291	51.77
増減額（B－A）	-	197	194	114	
増減率（%）	0.0	98.7	69.5	65.2	
（ご参考）前期実績 （2020年4月期）	9,941	466	477	316	56.24

2021年4月期通期個別業績予想数値の修正（2020年5月1日～2021年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,740	百万円 138	百万円 175	百万円 114	円 銭 20.28
今回発表予想（B）	7,845	356	386	243	43.21
増減額（B－A）	105	217	210	129	
増減率（%）	1.4	157.5	119.9	113.1	
（ご参考）前期実績 （2020年4月期）	8,077	409	429	288	51.23

修正の理由

（1）連結業績予想の修正理由

第2四半期（累計）連結業績の売上につきまして、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、防護服を中心とした感染対策用資材の需要が短期的に急拡大し、需給バランスが大きく崩れるなか、当社としては、引き続き原材料および商品の確保に努め、安定供給に注力した結果、防護服・環境資機材事業の売上高は、予想を上回る見込みです。一方、アパレル資材事業につきましては、足元で回復の兆しが見られるものの、上半期では、売上高が予想を下回る見込みであり、連結売上高は、前回発表予想額に対して121百万円の増収にとどまる見込みです。利益につきましては、防護服・環境資機材事業の業績が貢献したほか、感染拡大の環境下で、営業活動が制約を受け、営業関連の経費は減少したため、前回発表の業績予想より、営業利益で123百万円、経常利益で132百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で112百万円上回る見込みです。

下半期においても、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、防護服を中心とした感染対策用資材のサプライチェーン網は、依然として不透明な状況が続くことが懸念されますが、当社としては、引き続き原材料および商品の確保に努め、安定供給に注力してまいります。これにより、直近の業績の進捗も踏まえ、通期業績予想を修正いたしました。

（2）個別業績予想の修正理由

修正理由につきましては、（1）の連結業績予想の修正理由と同様の理由です。

（注）上記に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上